小海町 公民館報

町花・サラサドウダンツツジ

朝日に輝く
シャトレーゼスキーバレー小海　2023年１月29日

もくじ

町長年頭所感……　２～３ページ
公民館長新春あいさつ……　３ページ
羅針盤……　３ページ
新年特集・年男、年女……　４～５ページ
みんなの楽集館……　６ページ
第32回人権を考える町民の集い開催…　７ページ
人権に関する標語……　７ページ
教育委員会だより……　８～９ページ
地域の歴史㉚……　９ページ
町の広報……　10～17ページ
やすらぎ園だより……　18～21ページ
美術館ニュース……　22ページ
フォトニュース……　22ページ
小海の自然……　22ページ

第556号

令和６年12月１日現在
（　）内の数字は前回対比です

世帯数	1,957戸（－62）
人　口	男性 2,078人（－57） 女性 2,141人（－ 1）　合計 4,219人（－58）

発行日　令和７年１月１日
発行者　小海町公民館
編集者　小海町公民館報編集部
長野県南佐久郡小海町豊里285番地
ＴＥＬ 0267-92-4391
印刷所　臼田活版株式会社

飛躍の年二〇二五を迎え

小海町長
黒澤　弘

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えられ希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年は巳年であります。巳という漢字は胎児をかたどっているそうで、新たな生命が生まれるイメージが平和を象徴していると言われています。令和七年が皆様方にとりまして平和で稔りの多い年でありますことをご祈念申し上げます。

私の二期目の最終年に当たり、これまで以上に緊張感を持ち、町民の皆様方からの信任を得て、町職員とともに力強く精力的に町政を進めていく所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、元旦に能登半島地震が発生し、大きな被害に見舞われました。犠牲となられた皆様方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました方々に心からお見舞いを申し上げます。復興が進み始めた九月、さらに能登半島を豪雨が襲い、まだ三五〇人を超える方（十二月十七日時点）が避難所で生活を送っているとのことです。長野県では地震災害に対し「チーム長野」を結成し、各地の支援を行いました。小海町からは輪島市へ昨年三月に三名、四月に二名それぞれ一週間の日程で職員を派遣しました。一日も早い復興を願うところでございます。

中部横断自動車道の早期全線開通を目指し、２０２４ＲＯＵＴＥ日本海―太平洋促進大会が、十月二十三日当町のガトーキングダム小海で開催されました。中部横断自動車道の未整備区間である北杜市と佐久地域で交互に開催しており、佐久地域では四〇〇人規模の収容施設が限られることからこれまでは佐久市において開催されましたが、昨年は小海町、南牧村での開催を検討しガトーキングダム小海での開催となりました。県内外の沿線市町村関係者、女性みちの会関係者など三〇〇人を超える方々が集まり、意見発表におきまして、産業・雇用の創出、観光人口や定住人口の増加、災害時の孤立回避、海産物の流通の変化など全線開通を期待する提言がされました。

町の基幹産業の一つであります農業は、高温により苗の定植後の生育に支障を来しましたが、販売額ではＪＡ関係で蔬菜類前年対比一〇二％、花卉類八十二％となりました。資材の高騰や高温干ばつの影響を受け、農家の皆様には大変なご苦労があったと思います。近年は異常気象が続いている訳ですが、本年は、安定した栽培ができるよう望むところであります。

ワイン用ブドウにつきましては、地域おこし協力隊である「ノーマンズ」の圃場から昨秋に約二〇〇kgの収穫ができ、現在熟成させている最中です。今年の夏頃には小海町産ワインの発表ができると見込んでおりますので、楽しみにしていただきたいと思います。

小海駅舎とアルルにつきましては、キッズ世代から中高生の利用促進を検討し、一昨年から継続しているエキウエ自習室の運営やアルル内のイベント開催などを実施してきました。今後につきましても㈱Ｖｉｔａｌｉｚｅ小海支社長のプログラミング教室やＪＲ小海線関連の展示など、人が集まり交流できるイベントなどを開催してまいりますのでご意見をお寄せいただければ幸いです。

また、企業版ふるさと納税の制度を活用し、昨年八月九日には、佐久地域の小中学生十五人でつくる「小海くじら児童合唱団」が小海駅のホームを利用してコンサートを行いました。本年十一月に小海小学校体育館で行われる本公演のプレコンサートとして位置づけ、民話「くじらの夫婦」のオリジナルを作曲し、オペラという形で開催ができますことは大変ありがたいことです。

福祉関係につきましては、障がいのある方が地域で住み続ける場所の一つとなるグループホームの建設に着手してまいります。隣接地に高齢者住宅等の施設整備をし、「誰もが安心して住みやすいまちづくり」を進めて参ります。

交通体系につきましては、抜本的見直しを行っております。昼間の路線バスの代替として一昨年十一月から親沢線が試験運行を経てタクシー利用助成方式に移行し、昨年十月からは溝の原線と小海原線の試験運行を実施しております。バス利用者が限られていることなどから目立った混乱も無く、むしろドア・ツー・ドアにより利用者からは良い評価をいただいております。今後も利用者等の要望や改善点を集約しながら進めてまいります。

子育て・教育関係では、児童館の増築を行います。現在、午前中は乳幼児を対象とした子育て支援センター、午後は主に小・中学生を対象とした児童館として運営をしておりますが、この増築事業により、子どもたちが安全にのびのびと活動できる場所が確保できる

ものと考えております。また学校教育においては、障害を抱えた皆さん、不登校の児童生徒に行政としてしっかり寄り添える組織の構築を、職員体制を含め行うところでございます。そして、今以上に保育園・小学校・中学校と保健分野が連携し、子どもたちの将来にわたる礎の形成に注力してまいります。

松原湖高原スケートセンターが十一月二十三日㈯オープンしました。日中の気温上昇のため一週間遅れのオープンとなりました。十一月末からは町長杯スケート大会、松原湖大会など各種大会が開催され、小海町の小中学生も活躍しております。茅野市・岡谷市でのスケートセンター存続が危ぶまれる中ではありますが、当町では運営方法を工夫し、経費節減を図りながら伝統あるスピードスケートの振興を継続して行ってまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

町政の遂行に対し、町民の皆様全員にお支えいただいておりますことに改めて深く感謝申し上げます。本年も町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

新春あいさつ

楽集館 十年目へ

小海町公民館長　井出和利

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナの問題がほぼ治まり、公民館事業として計画した文化・スポーツ事業がすべて実施できました。これら事業を推進していただいた分館役員、実行委員、関係スポー連盟、スポーツ推進委員、厚生体育部員の方々など多くの皆様に感謝申し上げます。各事業にご参加の町民の皆様には楽しんでいただきながら大いに盛り上げていただき、相互の親睦交流が深められたと思います。

さて、二〇一五年（平成二十七年）十月にオープンした小海町生涯学習センター北牧楽集館が、昨秋十年目に入りました。ご存知のようにこの楽集館は、町公民館としての機能の他に図書館、郷土資料館、トレーニングルームなどを併合した総合施設になっています。

小会議室などの各室では公民館登録グループの皆様が熱心に活動したり、図書館では閲覧や自習する人、親子連れで楽しそうに本を選んでいる様子、トレーニングルームで体力づくりに励む人の姿が見られます。多目的ホールでは集会や催し物が開かれ、体育館やグランドでは各種スポーツ団体の練習や試合、町のスポーツ大会などが行われています。交流室では子供たちが宿題のノートを広げたり、年輩の方々がお茶を飲みながら談笑しています。

玄関奥のミニギャラリーには町に関係する人の作品を紹介しています。ある時、亡くなられた方の絵を展示させてもらったおり、娘さんが東京から来られ、感想ノートに「お母さん、個展が出来てよかったね」と書かれていました。

また、資料館の来館者名簿には近隣市町村のほか県外の人の記名があったり、図書館の貸出カードにも町外の方何名もの登録があります。このように町外からの来館者も少なからず見られます。

十年目を迎え、楽集館案内パンフレットにある「誰もが楽しく学び合い、集い、交流できる場所」としての機能が果たされてきたと思います。

いま社会状況は著しく変化し、超高齢少子化、人口減少で地域が衰退し、急速な情報機器の進展により広範囲な通信手段を得ましたが、かつてのような直接的な人の交流が薄れているといわれます。

そうした中、楽集館がその名のようにこれからも人々が楽しく集い、顔の見えるコミュニティ機関として親睦交流がはかられ、町民のつながりが築かれることを願ってやみません。

本年も町民の皆様とともに考え、力を合わせて公民館活動を進めていきたいと思います。

皆様のご健勝をお祈り申し上げつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

羅針盤

明けましておめでとうございます。

元旦に、若水でいれたお茶を飲む習わしがあります。若水は一年の邪気を払うとされます。我が家は、今は水道水を使っていますが、昔は家長が川まで汲みに行ったそうです。若水でいれたお茶をいただくと、気持ちも新たに、背筋が伸びる思いがします。

小海町は、豊かな水源に恵まれています。「小海町のお宝一〇〇選」には、下沢の岩清水、五箇の清水、笠原の清水端の水、上智の水源、卒道の湧き水が掲載されています。町内の家庭にひかれた水道水がとても美味しいのも、この恵まれた環境のおかげだと思います。

時に水は、津波や豪雨など脅威にもなりますが、人間は水がなければ生きていかれません。日々の暮らしも水に支えられていますし、人間の体も大概は水でできています。

この小海町の澄んだ美味しい水を飲んで、今年も一年元気に過ごしたいと思います。

〝巳〟年男・年女の皆さんに新年の抱負を語って頂きました

公民館報
編集委員会

今年の抱負

鎰掛
篠原　しさ子

明けましておめでとうございます。

小海で生まれ、結婚して子供三人に恵まれ、それぞれに独立しています。

仕事は地元で二十六年働き、四十才後半で退職しました。退職してからは、家事と家業の手伝いと忙しく、気がついてみれば結婚して四十七年になります。

何か趣味を持ちたいと思っている時に「ハーモニカをやらないかい」と声をかけてもらいました。音楽が好きだったので、入らせていただきました。

今は仲間と楽しく時間を過ごしております。

私達夫婦の隣に息子家族が住居を構えていて、夜は賑やかに一緒に食事をしています。

自分が働いて子供達が大きくなれたのは両親の協力があっての事でしたので、私も家族の為にできるだけ役に立つ事ができれば私の張り合いとなります。これからは、健康でいつまでも元気で迷惑をかけない様努力していけたらと考えています。

今年も皆様にとって良い年でありますようお祈り致します。

終わりなき旅

土村清水町
小山　英浩

まだまだ青かった頃。

六十歳には紛れもなくちゃんとした大人になっていると思っていた。

それなのに未だに『うまく練習すればドライバーは三〇〇ヤード飛ぶんじゃないか』とか、『今の包容力が若い頃あったらさぞかしモテモテだったろうに』とか考えている。

頭の中は青い頃のままなのに、どうしちゃった俺の体？白髪ジジイだし腰は痛いし、免疫力下がって帯状疱疹に苛まれるし、一体どうなってるんだ。

世間では歳と共に心も大人になる事を求められる。いろいろな事を諦めたり、我慢したりを重ねて、心と現実に折り合いを付ける。世間はそんなに甘くないという向かい風の中、折り合いの付け方が上手くなる。ジジイの特権だ。

歳に抗ったり開き直ったりしながら、でも俺の頭の中には、ミスチルの『終わりなき旅』が流れちゃうのよ。終わってない、まだまだやれると還暦を前にして心が叫びまくってる！まだまだ往生際悪くジタバタしてやる。

…と言いながら、あっという間に時間が過ぎていくんだろうなあ。

頑張れ俺！

これまでとこれからと

箕輪
近藤　史章

私が親に連れられこの小海町へ居を移したのが十二歳となった年、そして今年四回目の年男ということで四十八歳となります。実に三十六年間という歳月を過ごしてきたわけですが、人生における様々な出来事をこの期間、この町において経験してきたのだなと執筆しながら思い返しております。

さて今回いただいたテーマが新年の抱負ということでした。子供も大きくなり、私自身もある程度年齢を重ねた現在、大きく何かに取り組もうとする意欲が無いわけではありませんが、それらに取り組むため、そしてこれからまだ長いであろう人生において重要となってくる事は何であるのだろうかと、これを機に改めて考えてみました。

現代では世界情勢、政治、経済など今後の生活において影響を及ぼす事象は大小様々あります。ですが私自身の年齢や経験なども考慮いたしますとそこまで大きな行動などを突然とることもできません。

そこで今年の抱負として掲げたのは「自分自身が心身ともに健康になること。」です。

自身の行動や意識の持ち方で実現可能であり、身近な家族や友人に対して、また社会に対して貢献するにしてもまず自分自身の健康が必要であると思い至ったためです。

五十歳も目前に迫ってきた今、今後のためにも健康に対して改めて向き合う年としていきたいと思っています。

新年の抱負

ニタ小池
井出　かおり

新年あけましておめでとうございます。早いもので三回目の年女を迎えました。

私は北信の千曲市出身で、夫と知り合うまでは小海町を知らなかったのですが、こちらに来て十年。今では三人の息子の母となり、賑やかというか騒がしい日々を過ごしています。

さて、今年の抱負としましては、一つ目に子供の手本になる事です。子供は親の背中を見て育つ、親は子の鏡ということわざにもある様に、子供は良い面も悪い面も真似して大きくなります。まだ子供が小さい頃はなんとかなったのですが…最近は誤魔化せなくなってきて「ママだって～じゃん！」と言われると何も言えなくなります（笑）説得力を持たせる為にも、まずは私が苦手とする早起き、整理整頓といった所から始めてみようと思います。

二つ目に『毎日を楽しく過ごす』ことです。思い返せば昨年の元日には能登地方の地震があり、我が家も久々の揺れにとても怖かったのを覚えています。その時に何気ない日常は当たり前ではないのだと改めて気付かされ、笑って過ごせる今の幸せに感謝をしながら楽しむ事が大切だと実感しました。まあ、やんちゃな息子達なので毎日怒ってはいるのですが（笑）今年も周りの方々のお力をお借りしながら、笑顔の溢れる一年を過ごせたらなぁと思っております。

今年の抱負

本間川　篠原　康平

新年あけましておめでとうございます。

私は昨年から佐久市の樫山工業株式会社で社会人一年目として新人研修や自社製品理解のための講習など日々勉強の毎日を送っています。社会人として働き始めてから学生と社会人の差を苦労しながら実感しております。入社してから九ケ月が過ぎ、様々な研修や講習を経て、現在の仕事にも慣れてまいりましたが、今年からまた新たに覚えなければいけない仕事もたくさんあるため、気を緩めずに精進してまいりたいと思っています。

昨年に引き続き今年も仕事で学ぶことが多くあるため、「一日でも早く仕事を覚え、会社の力になれるように努力する」という抱負に決めました。この抱負を達成するために、わからないことはすぐに聞く、メモを欠かさずとることを心がけたいと思います。聞くこともメモをとることも基本的なことだと思います。しかし、基本が出来ていなければ次につながらないと考えているので基本を怠らないようにして、できることを着実に増やしていきたいと考えております。

まだまだ寒い日が続いておりますが皆さま体調にお気をつけ、良い一年をお過ごしください。

最高の一年

小海小学校　井出　結愛

私は、六年生になったら、おもいっきり集中したいことが三つあります。

一つ目は、習いごとです。私は、ブルーマリンに行っています。今私は五段なので、六年生では十段目指してがんばりたいです。

二つ目は、修学旅行です。五年生の時に行ったキャンプで班長になりましたが、班のみんなに迷わくをかけてしまったので、修学旅行ではもう一度班長になってみんなをまとめて、先生に言われたことや時間・ルールを守って、班長の仕事をこなしたいです。

三つ目は、委員会です。今私は、保健委員です。六年生になっても、このまま保健委員を続けたいと思います。なぜかというと、今の委員長さんがとても分かりやすく、「今日は何々するから五年生はこれやって。」など細かく伝えてくれるので、仕事がしやすかったです。なので私は、来年になったらこんな保健委員長さんのようになりたいです。

来年は、今以上にがんばりたいと思います。

君臨新六年生

小海小学校　小池　朗菅

ぼくは、二〇二五年の抱負が二つあります。

一つ目は児童会です。五年生で給食委員会になりました。「希望献立」など、楽しい計画がたくさんありました。ぼくがやりたい計画があって、今年はなかった「先生たちの希望献立」です。今までにない企画もたてたいと思います。楽しいことを考えるのが好きなので、児童会長になって、みんなが楽しめる計画を立てていきたいと思います。

二つ目は、バスケットボールのことです。ぼくは、三年生の中ばんでバスケを始めました。来年には、バスケでも最高学年です。バスケをやらせてくれた親、友達の保護者、体育館を貸してくれた佐久穂の人たち、そして時間をけずってぼくたちにバスケを教えてくれるコーチたちに感謝して自分のできることを一二〇％出してがんばってやり、できないことに対しては、練習して中とはんぱにならないようにがんばりたいです。

ぼくは、この抱負を一二〇％出してがんばりたいです。

みんなの楽集館

夢の教室が開催されました

11月22日㈮ 小海小学校5年生を対象に、元Jリーガー佐藤悠介氏をお招きし、「夢の教室」が開催されました。夢の教室は、さまざまな競技の現役、OB 、OGが夢先生として登壇し、夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さなどを伝え、学校教育現場と力を合わせて子どもの心の教育に貢献していくプロジェクトです。

「一人は皆のため」「みんなは一人のため」と勉強では気づくことのできない仲間を大切にすることの大切さを学びました。

1月・2月の生涯学習事業

○体育行事

1月13日(月)
第74回松原湖スケート大会
小学生の部

2月8日(土)
第27回松原湖高原
スケートセンター杯

○その他教室

手芸教室
1月16日(木)

親子スケート教室
2月6日・20日(木)

スキー教室
1月19日(日)
2月22日(土)

○催事

1月3日㈮
令和7年二十歳の集い
小海町総合センター

○移動図書

1月7日・21日(火)
2月4日・18日(火)

保育園移動図書
1月30日(木)

「ギャラリー創」からのお知らせ

○第20回灯り展

2月3日(月)～2月23日(日)
15時まで
陶芸・ひょうたんなどの
手作り灯りとペーパーク
ラフト・ヒンメリ・ネー
チャークラフト作品展示
松原湖観光案内所
電話　93－2005
水曜日休館

今月の図書館　新刊ピックアップ

■「モモ」（絵本版）　ミヒャエル・エンデ

世界各国で翻訳された児童書「モモ」が刊行50年を記念して翻訳絵本になりました。

時間泥棒に盗まれた時間を人間に取り返してくれた不思議な女の子モモ。この絵本では、モモが誰よりも得意な『人の話をよく聞く』事に焦点があたり、様々な『気づきを得る』人々が児童書の世界観を感じさせる美しい絵で描かれています。児童書「モモ」に繋がるきっかけにして欲しい絵本です。

新たな年、「モモ」の世界に飛び込んで、自分や時間について思いをめぐらせて下さい！

1月の企画コーナー

- ●何がでるかお楽しみ福袋
- ●和の世界
- ●大河ドラマはじまる！
- ●年男年女

第32回 人権を考える町民の集い開催

武蔵野大学名誉教授　佐藤 佳弘 さん

「インターネットと人権侵害 ～被害者にも加害者にもならない努力～」

11月24日㈰ 第32回人権を考える町民の集いが小海町総合センターにおいて開催されました。当日は107名の大勢の方々に参加していただきました。

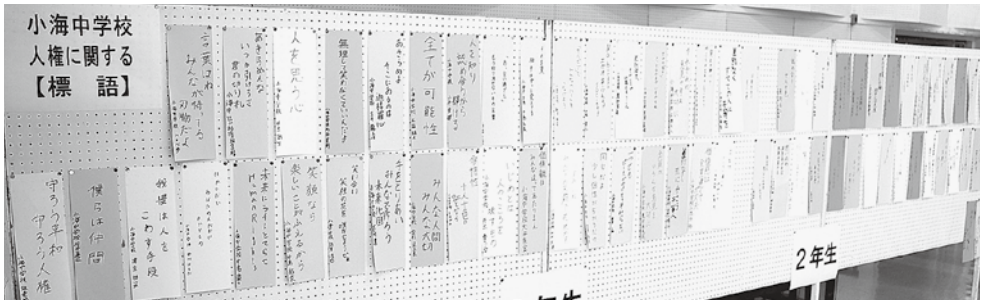
記念講演では、武蔵野大学名誉教授の佐藤佳弘さんを講師に、「インターネットと人権侵害　～被害者にも加害者にもならない努力～」と題し講演が行われました。

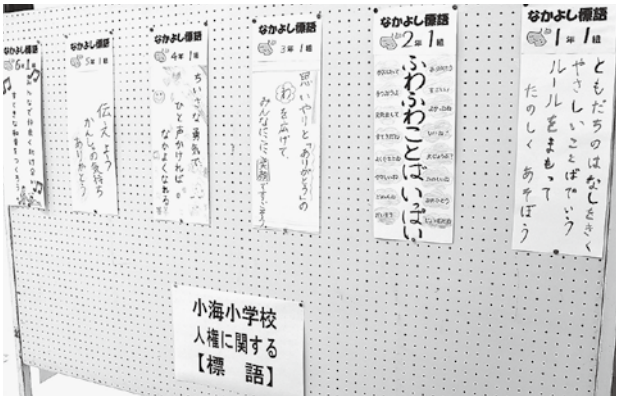
佐藤さんは東北大学を卒業後、富士通㈱に入社。その後、東京都立高等学校教諭、㈱NTTデータを経て、現在は株式会社情報文化総合研究所代表取締役、武蔵野大学名誉教授を務めるなど、幅広くご活躍されております。

ネット上での人権侵害や法制度、悪質な書き込みへの対処法など、実例を交えながらの講演会となりました。これからの社会、情報通信技術がさらに発達し、私たちの生活はより豊かに便利になる一方で、人を傷つけないためには、私達一人一人の意識が大切ではないでしょうか。

人権に関する標語

今年度も、小海小学校、小海中学校から人権に関するたくさんの標語を提出していただきました。また、第43回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会佐久地区において、小海中学校生徒の作品が入賞されました。





小海小学校、小海中学校の標語を掲示しました。

奨励賞
作品名「そんなつもり じゃなかった」
小海中学校二年二組
黒澤　ひより

教育委員会だより
教育こうみ

共育の広場

Vol.82
…1月号…

小海小学校　なかよし月間

11月は人権について考える「なかよし月間」でした。縦割り班で行う「ふれあい清掃」や姉妹学級で給食をいただく「なかよし給食」、全校で遊ぶ「ふれあい集会」や校長講話がありました。

校長講話では、「みんなちがってみんないい」をテーマとした話があり、その中でふれあい班ごとに集まってドラえもんの絵を一人ひとり描き、互いに見合う場面がありました。大きさの違うドラえもん、ポーズや表情が違うドラえもんなど、様々なドラえもんができました。そして描き上がったドラえもんを見合う子ども達からは自然に笑顔がこぼれていました。

最後にこのような話がありました。

「同じドラえもんでも人によって見え方が違い、人によって感じ方が違い、人によって表し方が違います。その違いを『楽しいな、おもしろいな、それもいいな』と思える事が、実は友だちとなかよくすることにつながっているのではないでしょうか。」

なかよし月間は終わりますが、互いに温かい言葉をかけ合ったり、相手のいいところを見つけたり、自分と違うところがあっても「それもいいね」と感じられる子ども達に成長していくよう、今後も支えていきたいと思います。

小海中学校　3年生から2年生へ 生徒会選挙 立会演説会、投票が行われました

新しい年を迎えました。３年生もあと２ヶ月と少しで卒業します。さみしさもありますが、中学校では現在３年生から２年生へと引き継ぎが行われています。中でも最も大きな引き継ぎが、生徒会の正副会長の引き継ぎでしょう。11月15日㈮に、生徒会選挙立会演説会と投票が行われました。会長候補２名、副会長候補４名による選挙となりましたが、どの候補者も実に立派で堂々とした演説でした。今年の立会演説会は、６名の候補者によるディスカッションが行われ、壇上で６名がお互いの公約に質問をして回答する形式で行われました。例えば「レクや対話活動を積極的に取り入れると言っていましたが班によっては消極的なグループもあると思います。どのように対応しますか？」とある候補者が質問し、された候補者は「その点は私も心配していました。同じ悩みを持っていてうれしいです。今のところグループ割りを工夫する対応策を考えています。」といったやりとりがどんどん行われていきました。その後の投票も整然と行われ、新しい正副生徒会長が決まりました。これからの新しい小海中がいかに成長していくのかとても楽しみです。

今!小海高校　小海高校　３学年たき火レクリエーション

11月中旬、３年生がにわかに学校周辺の落ち葉清掃を始めました。本校ではこの数年、この時期に３年生が落ち葉清掃をし、それをたき火にするレクリエーションが恒例行事となっています。11月21日㈭午後、天気にもめぐまれて、無事に着火。もちろん、落ち葉の中には大量のサツマイモが入っています。そして、生徒たちの手には枝に刺されたマシュマロやソーセージが！気持ちの良い小春日和の空の下、学年の仲間で火を囲んで語りあいながら、アツアツの料理を食べ、おだやかな時間を過ごしました。

気がつけば、高校生活も残りわずかとなってきました。３年生は入学からこれまでの間、多くの方に支えられながら、新しいことに積極的にチャレンジし、主体的に考えて行動し、大きく成長をとげてきました。残された高校生活を後悔のないように全力で取り組み、さらに力を伸ばすとともに、よりよい自分の人生へと進路を進めていくことを願っています。

引き続き、地域の皆様のご支援のほど、よろしくお願いいたします。

教育委員会情報 12月

●町教育委員会、中学校組合教育委員会12月合同定例会（令和６年12月19日）

・令和７年度予算要求の概要について確認しました。

熱い共育人 vol.80

小海高等学校
保健体育科
佐藤 舞

こんにちは。小海高等学校で勤務をして３年目になります保健体育科の佐藤舞です。十数年前に義父が八千穂中学校で校長としてお世話になっていたので、南佐久地域に縁を感じております。小海は、夏でも冷涼な気候や色鮮やかな紅葉、おいしい水など自然環境に恵まれた地域だと感動しています。

本校の体育の授業には「山ラン」という校外を１周するマラソンの授業があります。卒業された皆さんは昔やった記憶があるのではないでしょうか。今は紅葉の季節ですのでランニングをしているととても気持ちが良いです。天気が良い日には八ヶ岳も見え、生徒たちは五感で体感しながら体力を高めています。２キロ強のコースですが早い生徒は８分台で走ってしまいます。卒業していったオリンピアン達もこの山ランで足腰を鍛えていたことでしょう。

さて、私はバドミントン班の顧問をしておりますが、現在男子12名・女子４名の計16名で活動しています。生徒たちは県大会出場を目指し日々練習に励んでいます。東信地域では高校から始める人が多く、生涯続けることのできるスポーツですのでオススメです。私自身も高校から始め、大学、社会人でも練習に励んできました。バドミントンを通して、人としても成長できるような指導を日々心掛けています。今後もこの地域の子どもたちにバドミントンやスポーツの魅力を伝えていけたらと思っています。本年も変わらぬご支援をお願い致します。

地域の歴史(30)

秩父暴徒戦死者之墓

秩父事件の記念碑

秩父事件五十回忌の祥月命日である昭和八年十一月九日南佐久郡穂積村東馬流（小海町）諏訪神社の一画に、一基の墓碑が建立された。「秩父事件暴徒戦死者之墓」である。

明治十七年（一九八四）十一月九日、この東馬流の地で秩父事件最後の激戦が行われ、十三名の戦死者が出た。このうち引き取りの無い九名の無名農民の墓である。

この墓碑の碑文によれば、「秩父事件参謀長菊池寛平之孫共建立」とある。この孫たちの中心となって、この墓の建立に奔走したのは菊池寛平の外孫高橋中禄である。

高橋中禄は、菊池寛平の末娘志満の長男である。中禄三十六歳の時である。「秩父暴徒戦死者之墓」の墓碑銘は事件当時困民軍の本陣として自宅を開放した井出直太朗が書いた。高橋仲禄が最初に直太郎に協力を懇請した時は、「今さら秩父事件でもあるまい、あまり派手に動かないように」とはねつけた。

昭和八年と言えば当時社会運動や民主主義運動が徹底的に弾圧されていた。昭和七年全国農民組合運動に弾圧の手が入り、佐久の活動家四十二名が検挙された「佐久全農事件」、昭和八年二月教員赤化事件（二・四事件）が起こり治安維持法違反の名で県下六百名が検挙され、佐久でも北佐久郡高瀬小学校校長を含め七名の検挙者があり、社会に与えた影響は大きかった。

国家権力による露骨な弾圧の手が広がる時代の真っただ中で、直太朗の心を動かし、墓碑名を書かせ、東馬流の地に記念碑を立てた高橋中禄の歴史的意識と行動力は、後世に町の文化遺産として遺り、秩父事件を研究する人たちに多大な感銘を与えている。

秩父事件から百年の昭和五十九年十一月九日「秩父暴徒戦死者之墓」の前に約百名が集い、「秩父暴徒汚名返上百周年墓前祭」が行われた。「今日からは暴徒ではない。真の自由民権運動の戦士である」と参集者が万感の思いを込めて合掌した。永く厳しい道だった。令和六年十一月九日は秩父事件から一四〇周年にあたった。

秩父暴徒戦死者之墓

「井出直太朗」について

事件当時二十五歳。立憲改進党員。自由党嫌いの血気旺盛、菊池貫平と対等に振る舞った。木村熊二とは熊二キリスト教佐久伝道入り以来の交際がある。明治三十七年臼田佐久教会設立式には長老として選出されている。能筆家の一人。

町志中世編纂委員
成澤　良夫

広報こうみ 第204号
http://www.koumi-town.jp/　E-mail koumi@koumi-town.jp

松原湖のワカサギ釣り

ワカサギ釣りは冬の風物誌として穴釣りが有名ですが、昨年から営業しておりますドーム桟橋は、暖かく快適に釣が楽しめ人気です。その他にもドームでは無い桟橋釣りもおこなっており、ドームより料金が安いので気軽に釣を楽しむ事ができます。氷の安全が確認でき次第、穴釣りも解禁となります。

道具のない方は松原湖畔の佐久屋、リゾートイン立花屋にてレンタルもおこなっておりますし、釣り方のレクチャーもしていますので安心して釣りが楽しめます。

ドーム桟橋使用料／3500円
　・中学生以下／2000円
桟橋使用料／1000円
　・中学生以下無料
遊漁券／500円
　・中学生以下無料
ドーム桟橋のご予約は
リゾートイン立花屋まで
TEL 0267-93-2201

もくじ

松原湖のワカサギ釣り…… 10
町政に対するご意見・対応一覧表…… 11
町税等納期のお知らせ／税務署からのお知らせ…… 12
令和６年度 冬季自衛官等募集案内 …… 12
おいでよ佐久穂　イベント情報…… 13
がん検診（子宮総合検診、乳房検診）の
　受診はお済みですか？…… 14
歯周病検診の受診はお済みですか？…… 14
収入保険は様々なリスクから農業経営を守ります！ …… 15
「クローバーネットワーク 日本海―太平洋
　女性みちの会交流会」が開催されました…… 16
小海町憩うまちこうみ
　事業施設指定管理者公募について…… 16
子育て支援だより…… 17
やすらぎ園だより…… 18～21

町政に対するご意見・対応一覧表 令和6年11月分

ご意見

この度、町議会は歳費の見直しをしたようですが、町全般のことは考えずに自分達のことだけを考え行動しているように見え残念です。（今迄の選挙で定数に足りない選挙は無かったはずです）町には議員の皆様はもとより、たくさんの方々が町のために頑張っています。区会議員を始め委員会委員の皆様方他、大勢の人たちがボランティアに近い報酬で頑張っております。弱者に寄り添うと、日頃から発信、自負している、共産党の皆様はどう考えているのか、自分達が良ければそれでよいのか。選挙カーを出して町民１人１人に報酬をあげる説明を納得するまで遊説して歩いたらと思いますがどうでしょうか。

議員の皆様は自分達の給料を30パーセントのアップを決めたようですが、この様な大幅アップは町民の理解が必要ではないかと思います。アップに伴い自分たちの身を切る議論はなされたのか？私は定年制度を設けたらと思います。でなければ若い世代が増えるどころかお金欲しさに年寄り議員が辞めず、年寄り議員が立候補する、老人議会になりかねません。そもそも議員の根本は町のために努力するというボランティア精神がなければなりません。

この度　小海町議会は、議会改革にて議員の報酬を５万円から６万円程度上げるとのことですが、議会改革でどの様な議論がなされたのか。また現在の年俸額、そしてアップした年俸額がどのくらいと明記し、町民の皆様に分かりやすく説明をして、是非を問うようご指導をいただきますようお願い申し上げます。どさくさまぎれに上げるような行為は断固反対です。

回答

９月19日に議会議長より「議員報酬引き上げに関する要望書」が町長宛に提出され、小海町特別職報酬等審議会での審議を依頼されました。

特別職報酬等審議会では、11/13、11/29の２回審議会を行い以下のような答申がされました。

１．報酬の額について

１）　議会の議員の報酬額につきましては、平成９年10月以降27年間増額改定はされておらず、議会改革特別委員会において増額を検討されてきた経緯については了承した。

２）　報酬額の算定については、原価方式を採用しているが、比較方式を併用することにより、長野県内類似団体の報酬額や町の財政状況を考慮された上で算定されたい。

また、町民への説明や意見聴取が十分に尽くされた経緯がないことから、これらを十分に行い、町民が理解できる金額とされたい。

２．付帯意見について

長野県内、全国の類似団体の資料によれば、議員定数についても検討が必要と思われる。報酬の増額にあたっては、定数についても併せて検討されたい。

以上のことから、町としては特別職報酬等審議会の答申を尊重するとともに、報酬額の算定については町民の皆様が理解できる金額としていただくよう、町議会へ再度の検討をお願いしました。

町税等の納期のお知らせ〈令和7年1月～2月の納期は下記のとおりです〉

口座振替日	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢者医療保険料
1月27日(月)	**7期**	**7期**	**7期**
2月26日(水)	**8期**	**8期**	**8期**

町税等の口座振替をご利用の方は納付月の26日が振替日となります。
前日までに残高の確認をお願いいたします。
※26日が土日・祝日の場合は翌平日に振替えます。
また、窓口納付の方につきましては、**納期限は各納付月の月末**となります。
窓口納付の方は、便利な口座振替のご利用をおすすめします。
納税が遅れますと、督促状が送られ督促手数料が発生しますので、必ず納期限内に納税をお願いいたします。

税務署からのお知らせ

令和６年分の所得税・個人消費税・贈与税について税務署での相談をご検討の方へ

令和７年１月６日(月)から２月14日(金)までは、佐久税務署内に確定申告会場はありません。自宅でスマホ申告等をご検討下さい。

申告相談は、国税庁ホームページ「タックスアンサー」や「チャットボット（ふたば）」をご利用ください。電話の場合は、国税相談専用ダイヤル（TEL0570-00-5901）をご利用ください。

令和７年２月17日(月)から３月17日(月)までの確定申告期間中に、来署する方は、入場整理券が必要です。当日発行の入場整理券数に限りがありますので、国税庁LINE公式アカウントを通じての事前発行をご利用ください。

確定申告会場は、マイナンバーカード方式によるスマホ申告を行っています。

【来署する際にご持参いただくもの】
- お使いのスマートフォン
- マイナンバーカード及び設定したパスワード２種類（数字４桁のもの・英数字６桁以上のもの）
- 申告に必要な書類（収入や控除に関する書類）
  例：給与や年金の源泉徴収票、生命保険料等の控除証明書など

※２月14日(金)以前に所得税・個人消費税・贈与税の申告相談のため来署を希望される場合は、事前に相談日時等を電話で予約してください。予約なくお越しいただいても対応できませんのでご了承ください。

令和６年度 冬季自衛官等募集案内

※※令和７年春採用まだ間に合います※※

１　自衛官候補生（任期制を活用し幅広く進路を選択したい方）

・**受験資格**　18歳以上33歳未満の男女

【１月試験】
- **受付期間**　令和７年１月22日(水)まで
- **採用試験**　学科（Web）：１月29日(水)、30日(木)
  口述等：２月１日(土)

【２月試験】
- **受付期間**　令和７年２月19日(水)まで
- **採用試験**　学科（Web）：２月26日(水)、27日(木)
  口述等：３月１日(土)

資格等については、条件により異なります。詳しくは自衛官募集ホームページまたは、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：自衛隊上田地域事務所
住　　所　：上田市中央西2-3-13上田法務総合庁舎１Ｆ（上田税務署向かい）
電話・FAX：0268-22-5267

詳しくは
長野地本　検索

おいでよ佐久穂　イベント情報

佐久穂町のイベント情報だよ！
みんな来てね～！

小海町と佐久穂町の同盟事業に基づき、佐久穂町のイベント情報をお知らせいたします。
となり町のイベントにお気軽にお出かけください。皆様のご来場をお待ちしております。

日　　時	内　　容	会　場	主　催
1月19日(日)　14時	さくほスタインベルクピアノ　Chicなコンサート	茂来館	公民館
1月25日(土)　14時	第1回誰でも学べる古文書教室	茂来館	公民館
2月2日(日)　13時	第18回人権フェスティバルinさくほ	茂来館	町他3者
2月16日(日)　10時	茂来館冬まつり	茂来館	公民館
2月22日(土)　14時	芸能鑑賞会　落語	茂来館	公民館
2月22日(土)　14時	第2回誰でも学べる古文書教室	茂来館	公民館
2月23日(日)　14時	第5回文化芸術講座	茂来館	公民館

主催及び問合せ
佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」　〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬2570
TEL：■茂来館代表佐久穂町公民館 0267-86-2041　■佐久穂町図書館 0267-86-7020
■奥村土牛記念美術館 0267-88-3881　■ふるさと遺産収蔵館（むかたん）0267-88-7133

○さくほスタインベルクピアノ犬飼新之介

○令和6年度誰でも学べる古文書教室

令和6年度
誰でも学べる古文書教室

古文書を読んでみたい、古文書を読めるようになりたいという初心者向けの講座です。町内に残る古文書を使って、古文書学習の基礎や江戸時代の人々の暮らしぶりを、わかりやすく解説します。
全3回の開催ですが、1回だけでも受講できます。定員30人の事前予約制です。

講師：小須田 基弘（こすだ もとひろ）**先生**

昭和30年生まれ、信州大学教育学部卒業。県下の学校に勤務。『佐久町誌歴史編 近世』など佐久地域の自治体誌の編纂・執筆に携わる。長野県シニア大学古文書教室講師。小諸市古文書調査室勤務。佐久穂町大日向在住。

第1回　「『戌の満水』に関わる古文書を読む」
令和7年1月25日（土）　午後2時00分～3時30分
寛保2年（1742）に起きた大水害「戌の満水」に関わる古文書を読みます。どんな被害があったのか、人々はどう対応したのか、などを読み解いていきたいと思います。併せて、古文書の読み方の基本についても学んでいきます。
（予約受付は定員30人になり次第締め切り）

第2回　「江戸時代の家出人・行方不明者は…」
令和7年2月22日（土）　午後2時00分～3時30分
今の時代でも、突然家出してしまったり、姿をくらましてしまったりという事件が起きます。江戸時代にもありました。その場合、人々はどう対応したか、役所はどうしたか、などについて、古文書をみていきたいと思います。また、古文書の読み方の基本も学びます。
（予約受付は1月28日（火）午前8時30分より、定員30人になり次第締め切り）

第3回　「江戸時代の鉄砲所持について」
令和7年3月15日（土）　午後2時00分～3時30分
江戸時代、害獣駆除・悪病追払いなどのために、地域でもさかんに鉄砲が使われました。鉄砲使用に関わるお触書や使用願書などの古文書を読み、当時の鉄砲使用のあり方について考えてみたいと思います。また、古文書の読み方の基本も学びます。
（予約受付は2月26日（水）午前8時30分より、定員30人になり次第締め切り）

○会　場：佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」中会議室
○受講料：各回　２００円
○予約は佐久穂町公民館窓口または電話（0267-86-2041）にて受付

佐久穂町公民館主催
水と緑のうるおい　人の営みが奏でる未来のふるさと　佐久穂町

がん検診（子宮総合検診、乳房検診）の受診はお済みですか？

今年度対象者の方には、５月に役場から受診券をお送りしております。この受診券を下記医療機関で使用すると、無料で検診を受けることができます。期間は令和７年３月31日までとなっております。

受診をお忘れではありませんか？年齢が対象で受診がまだの方は、お早めに受診してください。

●**女性検診対象者**

（子宮）：21歳（平成15年４月２日～平成16年４月１日生まれ）
26歳（平成10年４月２日～平成11年４月１日生まれ）
56歳（昭和43年４月２日～昭和44年４月１日生まれ）
61歳（昭和38年４月２日～昭和39年４月１日生まれ）
（乳房マンモグラフィ）：41歳（昭和58年４月２日～昭和59年４月１日生まれ）

●**申込方法**：下記医療機関へ電話でご予約ください。

医療機関名	電話番号	予約受付時間	子宮	乳房
斎藤産婦人科医院	0267－62－0823	平日　午前９時～11時30分、午後３時～５時30分 （水曜日、第1.3.5土曜日　午前9時～11時30分）	○	
いまいレディースクリニック	0267－66－7050	平日　午前９時～正午、午後３時～５時30分 （木曜日、土曜日　午前９時～正午）	○	
浅間総合病院	0267－67－6477	平日　午前９時～正午、午後２時～午後４時30分	○	○
増田医院	0267－66－0303	月火水金　午前9時～12時30分、午後3時～5時30分 木土　午前9時～12時30分		○

※受診券を無くされた方は、役場町民課（92-2525）までご連絡ください。

歯周病検診の受診はお済みですか？

お口の健康は、全身の病気や生活習慣との深い関連があります。年齢を重ねても、歯・お口の健康を保つために、定期的な健診や毎日のお手入れがとても大切です。

下記の年齢に該当する方は、無料で検診を受けることができます。期間は令和７年３月31日までとなっております。５月に役場から送付しました受診券をお持ちの上、ぜひこの機会に検診を受けましょう。

●**検診対象者**：今年度に20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる方

●**申込方法**：下記歯科医院へ電話でご予約ください。

検診実施機関名	電話番号
にいつ歯科医院	９２－２０３４
羽毛田歯科医院	９２－２２０８
渡辺歯科医院	９２－２１９５

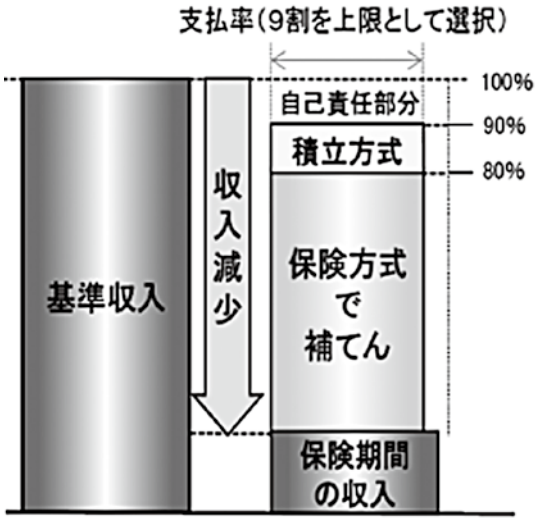
※受診券を無くされた方は、役場町民課（92-2525）までご連絡ください。

収入保険は様々なリスクから農業経営を守ります！
青色申告をしている農業者様がご加入できます。

主なリスク

収入保険のポイント

・全ての農産物を対象に自然災害や価格低下のほか、経営努力では避けられない収入減少を補償します。
・保険期間の収入が基準収入の９割を下回った場合に、下回った額の９割を上限として補填します。
・基準収入が1,000万円の場合、初年は掛捨て保険料が10.8万円、積立金22.5万円、事務費が2.2万円です。
・保険期間開始前に加入申請を行います。
・保険期間の前年１年分の青色申告の実績があれば加入できます。



（注）５年以上の青色申告実績がある方の場合

・基準収入は過去５年間の平均収入を基本
・保険期間の営農計画も考慮して設定

保険期間……個人：１月～12月　法人：事業年度の１年間

令和７年から収入保険と野菜価格安定基金との同時利用ができません

保険金の受取がなければ保険料は安くなります

※制度に関する相談や、保険料の試算も行っていますのでお気軽にお問い合わせください。
農業経営の安定のために、収入保険を是非ご検討ください。

お問い合わせ：NOSAI長野　佐久支所：☎0267-58-2580

「クローバーネットワーク 日本海―太平洋 女性みちの会交流会」が開催されました

令和６年10月23日㈬、午前にシャトレーゼ ガトーキングダム小海で、「クローバーネットワーク 日本海―太平洋女性みちの会交流会」が開催されました。同日午後には、シャトレーゼ スキーバレー小海「エーデルワイス」で、「2024 ROUTE日本海―太平洋促進大会」が開催されました。こうみ女性みちの会会員９名が参加し、前者では中部横断自動車道沿線市町村と交流を深め、後者では講演会で見識を深めました。

こうみ女性みちの会は、共に会員として活動できる方を随時募集中ですので、ご興味を持たれた方は、小海町役場　産業建設課建設係　TEL92-2525までお問い合わせください。

小海町憩うまちこうみ 事業施設指定管理者公募について

町は、憩うまちこうみ事業施設の管理運営について、民間の能力を活用し、憩うまちこうみ事業施設の利用促進と経費の節減等を図るため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項及び小海町公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例（平成18年条例第３号）の規定に基づき、指定管理者を募集します。

1　募集の概要（抜粋）

●指定の期間

令和７年４月１日から令和12年３月31日までの５年間

●施設の概要

・名称及び位置　小海町憩うまちこうみ事業施設
　小海町大字豊里4283番地4
・開設年月　令和２年４月
・面積等　木造平屋　床面積99.36㎡

2　申請の手続等

●申請書提出期限

提出期限　令和７年１月31日㈮　午後５時

提出方法　持参または郵送（郵送の場合は上記提出期限に必着）

3　選定

選定はプロポーザル方式で行い、小海町公の施設の指定管理者の指定手続きに関する規則第５条に規定する小海町公の施設指定管理者選定審査会により選定します。

※その他詳しい内容についてはホームページ掲載の募集要項をご確認ください。

担当　小海町役場総務課渉外戦略係　電話0267-78-5147

子育て支援だより

1・2月の子育て支援教室

お問合わせ
小海なかよし児童館　92-2580

子育て支援センター事業【乳幼児親子対象】

※参加を希望される方は、申込みが必要になります。

★おもちゃランド

・１月30日㈭　10時～　「鬼は外」
・２月６日㈭　10時～　「保育園へ行こう」

★パパ・ママ　カンガルーひろば

・１月20日㈪　10時～　「ヨガ」
・２月20日㈭　10時～　「お楽しみ会」

児童館事業【小学生対象】

★子ども教室

・１月15日㈬　放課後～　「お正月あそび」
・２月12日㈬　放課後～　「紙しばい」

次世代育成事業

★元気な小海っ子

【小学生以下の児童とその保護者対象】

・１月19日㈰　８時45分～　「親子スケート教室」

★子ども探検隊【小学生対象】

・２月８日㈯　９時～　「雪あそび」

見守り隊のみなさん、いつもありがとうございます

見守り隊協賛企業
内田孔建設㈱
㈱北原組
㈱黒澤組
㈱新津組
㈲小海環境サービス
㈲陸大
㈲宿岩自動車工業

「子育てサポートこうみ」のみなさんや、地域企業のご協力のもと、毎朝子どもたちの登下校を見守っていただいています。７時過ぎという早い時間でありながらも、子どもたちの安全のため、お力添えいただき、大変感謝しております。日頃の小さな取り組みの積み重ねによって、和やかな雰囲気での交流も見られ、地域コミュニティの活性化にもつながっているように感じます。ぐっと気温が下がり、本格的な冬を迎えようとしています。これから寒さの厳しい季節となりますが、無理のない範囲で続けていただけますと幸いです。

結婚推進事業　～婚活のすすめ～

◆白樺結婚相談
（小海町・佐久穂町・南相木村）
・１月19日㈰　13時30分～16時（小海町北牧楽集館）
・２月16日㈰　13時30分～16時（佐久穂町八千穂福祉センター）

◇小海町結婚相談
月～金曜日の８時30分～17時15分まで、小海なかよし児童館にて受付けております。お気軽にご相談ください。

※相談はご本人でもご家族でも結構です。
※都合のため中止になることもありますので、町ホームページでご確認ください

ほろ酔い列車 in 小海線

地元のお酒を飲みながら高原列車にのっての婚活イベント。佐久平⇔小淵沢を往復します。

日時：令和７年１月25日㈯
９：30～15：30
男性・女性ともに25歳～45歳

参加希望の方は　子育て支援課
92-2580までお問合せください。

～理念～　誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します

やすらぎ園だより

No.214

〈編集・発行〉社会福祉法人　小海町社会福祉協議会／〒384-1103　長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地　ＴＥＬ．92−4107㈹　ＦＡＸ．92−2457

小海町社会福祉協議会設立50周年 地域活動支援センター開所30周年 節目の年となりました

―お支えいただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます―

小海町社会福祉協議会
会長　嶋田　一正

小海町社会福祉協議会は昭和49年9月に設立されました。昭和49年の日本はそれまで続いた高度経済成長の様々な矛盾とひずみが表面化した時代でありました。高度経済成長時代の「消費は美徳」から「節約こそ美徳」に国民の意識にも変化が生じ、高度経済成長から低成長時代に移る「曲がり角」の年でもありました。このような時代背景の中、小海町社会福祉協議会が設立され、当時の北牧産業会館を小海町福祉会館とし、そこを活動の拠点として、高齢者中心の介護、生活支援等を行う家庭奉仕員派遣事業と児童館の運営を開始いたしました。

事業開始直後には多くの紆余曲折があったことと思いますが、社協設立時の社会福祉活動の理念であった「物と心の調和のとれた温かい福祉社会をつくり、他人の喜びを自分の喜びに出来る思いやりの精神と皆の善意により、路上にも茶の間にも福祉をもたらすこと」を活動の基本とし、町民の皆様及び関係者の皆様のご理解とご協力を頂きながら、社会福祉サービスの充実に取り組んでまいりました。

次に地域活動支援センター「ひまわり」は平成6年4月に開所されました。当時、障がいを持った方々のために作業所をつくろうと、多くの関係機関の皆様が協議と準備を重ね、就労に必要な作業訓練と日中活動の場として、小海町共同作業所「ひまわり」が開所されました。

これまでの30年間、様々な変化がありましたが、幸せとは「仕事を持ち、収入を得て、苦楽を感じながら、家族・友人・大切な人と共に人生を送る。たとえ一人であっても、日々の暮らしが幸せだと感じられる。又、自分の存在価値が誰かの役に立っていると感じられる」そのような視点を持って、作業を提供してくださる企業の皆様及び町からのご支援を頂きながら、職員と利用者の垣根を取っ払って、日々支え合いながら活動してまいりました。

さて、小海町社協設立から50年、社会、経済の変化や新型コロナウイルス感染拡大等により、地域の福祉課題は多様化、複雑化し、様々な制度によって行われる社会福祉事業だけでは解決出来ない、制度の狭間となる福祉課題が顕在化してまいりました。地域福祉・介護保険・障がい者支援の3事業が小海町社協の柱でありますが、制度の狭間となる様々な課題に対処するため、新規事業にも積極的に取り組んでいます。小海町社協の理念は「誰もが皆自分らしく生きるために支え合う地域づくりを目指す」であります。職員一同時代の変化にあらがうことなく、常に「何が出来るのか」「何をなすべきなのか」を模索しつつ、福祉課題に真摯に向き合い、町民の皆様に信頼され、親しまれる社協でありますよう一丸となって努力を続け、小海町の住民福祉の向上に貢献してまいります。結びになりますが、「小海町社会福祉協議会」「地域活動支援センターひまわり」をお支え頂いた全ての皆様にあらためて心より感謝申し上げますとともに、これからも末永いご支援を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

小海町社会福祉協議会設立50周年 地域活動支援センター開所30周年 記念事業開催

11月17日㈰ 小海町社会福祉協議会設立50周年・地域活動支援センター開所30周年記念事業が小海町総合センターにおいて、ご来賓の方々をはじめ多くの町民の方の出席により、節目の年となる記念事業が盛大に開催されました。

黒澤町長もギターを！

記念行事として、川崎昭仁さんによるトーク＆ライブを約１時間半ほど開催しました。川崎さんは、幼少の頃、原因不明の発熱により手足が麻痺し以後車イスでの生活を余儀なくされておりますが、自分自身の体の事や今まで生きてきた中での出来事を話題にトークと迫力のあるギター演奏を披露されました。

川崎さんの生き方は、障がいがあるとか無いとかではなく、一人の人間として自分の与えられた環境や状況の中で精一杯にこの瞬間を生きる事が大切で、その事に対して周りの人に関わっていただき今の自分があると話されました。

笑顔の中にも人としての本当の強さがあると実感しました。まさにこのことが、小海町社会福祉協議会の理念に合致する記念行事にふさわしい時間でありました。参加された多くの方々も同じ思いを感じられたのではないでしょうか。

最後に、地域活動支援センターひまわりの利用者さんと職員による、テーマソングと唱歌「ふるさと」を手話を交えて披露し記念事業を終了しました。

小海町社会福祉協議会は、これからも福祉サービスを必要としている方々に寄り添い業務を遂行して参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

ひまわり通所者と職員による手話で「ふるさと」を披露

法人会員の皆様　社協会費を納入いただきありがとうございました

法人会員　29件　　総額　445,000円

法人会員の皆様から貴重な社協会費を納入頂きました。地域福祉事業等に役立たせていただき、誰もが皆安心安全な地域づくりを目指し、食事サービス事業、介護予防事業、障がい者の余暇活動などに活用させていただきます。

令和６年度　法人会員会費納入実績　　R6.12.10現在

会　社　名	会　社　名
内田孔建設㈱	山口自動車販売㈲
㈲カクナン	㈲陸大
㈱加藤商会	黒沢燃料㈲
㈱北原組	㈲新和オート
㈱黒澤組	㈲ツチハシ
㈲小海環境サービス	㈲土橋工務店
特別養護老人ホームこうみの里	㈲中島観光
㈱サン・カーズ	㈲なかじま建築
㈲篠原製作所	㈱新津テレビ
㈾清水屋商店	南佐久中部森林組合
㈱シャトレーゼリゾート八ヶ岳	㈲わたや
長野八ヶ岳農協 小海支所	㈳小海町開発公社
㈱新津組	小海郵便局
㈱みつわ	㈱八十二銀行小海支店
㈱ヤナショウ	

きんろうかんしゃのひに

こうみほいくしょのえんじのみなさんが、やすらぎえんではたらくおじさんおばさんをおうえんに、すてきなぷれぜんとをもってきてくれました。

善意銀行御礼

（令和六年六月～十一月）

黒澤　正江　様（芦谷）
井出　裕子　様（東馬流）
古清水義文　様（馬流）
出浦きよ子　様（土村）
篠原　裕子　様（本間）
小池　泉　様（八那池）

皆様からのご厚意に御礼申し上げます

社会福祉協議会にご寄付をいただき、有難うございます

12月12日、社会福祉協議会にて、長野県労働金庫佐久支店運営委員会の皆さまより寄付金をいただき、贈呈式が行われました。この寄付金は、11月に行われた「ろうきんチャリティー親子ふれあい映画会」で集まったお金で、全額を寄付していただきました。

地域福祉の為に大切につかわせていただきます。

希望の旅に行ってきました！

10月31日、11月１日の１泊２日で昼神温泉と岐阜県の恵那市に行ってきました。希望の旅とは障がいのために外出の機会の少ない方々、またその介護者を対象に行われ、観光を楽しみながらの交流と心身のリフレッシュをしていただく事業です。

１日目は馬籠宿・妻籠宿を散策しました。中山道木曽路の風情ある町並みには外国人の観光客も沢山いて、国際交流も楽しみました。散策後は昼神温泉の湯元ホテル阿智川で美味しい食事と素敵な温泉で一日の疲れを癒しました。

２日目は岐阜県の恵那峡へ行きクルーズ船に乗りました。優雅なクルーズと秋の始まりを感じさせる景色に皆さん感動しておりました。最後に、上伊那にある信州里の菓工房へ行きました。可愛らしい和菓子や季節限定の栗きんとん等、魅力的な商品が沢山あり、皆さんお土産の買い物を楽しみました。初めて参加された方もいて、交流の深まる楽しい旅になりました。

視察研修に行ってきました！

12月6日、小海町赤十字奉仕団視察研修で昨年に引続き「静岡県地震防災センター」へ行きました。

今回は、奉仕団員のほか社協ボランティアの皆さんにも参加していただきました。

静岡県地震防災センターでは、令和6年１月1日に発生した能登半島地震と同じ震度7の地震体験や日本各地で発生した豪雨災害における対策など学びました。

大切なことは、発生したら先ずは「自分の身は、自分で守ること」が大切であること。

そして、日ごろから「地域のつながり」「避難訓練」「子どものころから災害避難体験教育」の必要性を実感しました。

午後は、日本平夢テラス展望台を見学し、太平洋に映える日本一の富士山を見ることができました。雄大な富士山の様に平穏な生活が継続できることを願って帰路につきました。

美術館ニュース
小海高原町

本年度は三回の展覧展と教育普及活動を行いました。

「あわい 対話でつなぐメディア・アート」では、コンピューターや電子機器を利用し鑑賞者が関わることで変化するアートを紹介、「ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展」では、ムーミンの物語に登場する食に焦点をあて、コンヴィヴィアル（共生やパーティなどの楽しく心地よい雰囲気）をテーマに開催し、一万人を超える来場者でにぎわいました。初めて美術館で行ったフィンランド夏至祭（写真上）も好評をいただきました。「この世界のむこう：パラレル・ワールド」では、公開二〇周年を記念した新海誠監督作品「雲のむこう、約束の場所」の展示と上映会（写真下）を行いました。展覧会と併せ、講演会、展示解説、授業等の教育普及活動を行い、約千人の参加者がありました。

来年度も魅力ある展覧会に是非お越しください。

フォトニュース

11月30日に第30回小海町長杯スピードスケート競技会が開催され、小学生112名の参加がありました。いよいよシーズン本番です。

お正月にむけて手作りおせちやお惣菜を販売しているプチマルシェこうみの様子

小海の自然

第34回 氷上トライアスロン小海大会

マイナス15度
極寒の地で体力の限界に挑む!!

参加者・スタッフ大募集

小海町の冬の風物詩であります氷上トライアスロン小海大会を、令和７年２月２日(日)、小海リエックス・松原湖スケートセンターを主会場に開催します。

【参加者募集】競技種目

スキー	3km
ランニング	16km
スケート	10km（400M×25周）

※一般部門　同一選手が３種目競技を連続して行なう。

※リレー部門　（２名又は３名で競技を行なう男女不問）

【スタッフ募集】

本大会のお手伝いをして頂けるボランティアを募集します。

【申込み・お問合せ】

氷上トライアスロン小海大会事務局
（小海町役場産業建設課 0267-92-2525）